

## 【学校運営協議会参考資料】

### ◆学校が抱える課題・現状

1. 教員不足による正規教職員の負担が増大している
2. 教室に入れない生徒（不登校）の居場所として『湘中ルーム』を開設して対応しているが、別室での学習支援や見守りに対応する十分な職員体制がとれない状況にある  
⇒湘中ルームに通うことも難しい生徒のひきこもり状態を解消する手立てが必要地域に居場所が作れないか？
3. 外国につながる家庭が一定数あり、当該生徒（保護者）に対する日本語支援・学習支援を要する状況がある  
⇒国際理解、多文化共生社会にかかる意識醸成が必要
4. 部活動の地域移行に伴い、受け皿となる実施主体（団体）の確保  
⇒地域内にクラブ等の設置がない種目の運動部と文化部（吹奏楽、演劇）
5. コロナ禍での活動制限による体験活動・地域活動等の不足  
⇒学びの機会（体験的活動）の創出
6. 学校に対する信頼の醸成  
⇒開かれた学校（学校の公開：学校に入ってもらう・学校が出て行く）

### ◆地域の力を借りたい支援

1. 地域人材（ボランティア）による学びの支援  
（学習支援、日本語支援、国際理解教育支援、その他ゲストティチャー）
2. 生徒の地域活動（体験活動）の参画支援
3. 部活動の受け皿の担い手 等